

夜光貝螺鈿風ランプ細工の作り方

平成22年5月23日 周超音波研究所発行

ShuzouArakaki@09019448672 (81-9019448672)

① 夜光貝の模様を残しつつ真珠層出し研磨を行います。



貝の秘めた色合いを確認！左赤優位、右青優位



ペイントマジックで色模様描きを行います。

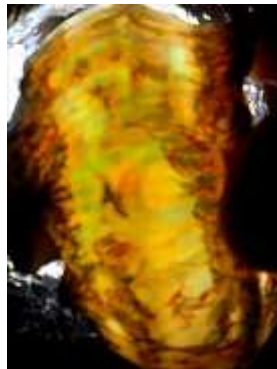


ゆっくりあせらず、描き込みます

② 確認作業を行います



自然の輝き



ランプを点灯した輝き

私は毛質カラーマジックペンの先で細かく少しづつ模様たししています

③このように明細模様やシンプルバラ等模様を思いのまま描き上げていきます



螺鈿風明細



赤バラ模様

④仕上げはクリアラッカーで重ね塗り。3回吹きつけ乾燥を10回ほど行くとレンズ効果が出てきて夜光貝が光を吸収し美しい輝きを発します。また光の当たり具合で、模様の色合いや風格が変化していきます。そのために重ね塗りを慎重に多く行うのが秘訣です。その後も輝きに応じて模様たしもします。

最初の作品、隠し干支 何だったか？

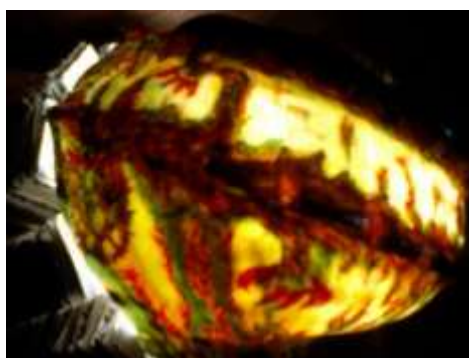
新松



双龍ランプ使用



ランプ点灯



夜光貝の真珠層の輝きと、螺鈿技術、水墨画要素、ランプ利用による素朴な演出などハイブリッド応用で夢幻無限の製品を作成出来るでしょう。出来れば左手で描くことをお勧めします。理由として左利きの人に空間的イメージ力を多く認めるような気がします。

夜光貝は右巻きですので左手に対して螺鈿模様描きが純目になります。細かい細工も重要ですが、貝の持つ秘めた輝きを生かすのは右手描きと左手描き、下書き彩色が同じでも輝き方は異なります。



注文品 家のお守り床の間用